

### ドラクシン®

長期間持続型の  
新しいマクロライド製剤

- ・1回投与で最適な作用持続時間を達成
- ・マイコプラズマへ高い有効性



### ドラクシン® 25

ドラクシンと同じ効果で  
子豚に注射しやすい投与量

- ・1回投与で最適な作用持続時間を達成
- ・マイコプラズマへ高い有効性



有効成分	ツラスロマイシン	ツラスロマイシン
含量	1mL中 100.0mg(カ価)	1mL中 25.0mg(カ価)
適応症	細菌性肺炎	細菌性肺炎
用法・用量(体重1kg当たり)	ツラスロマイシンとして 2.5mg(カ価)を <b>単回頸部筋肉内注射</b>	ツラスロマイシンとして 2.5mg(カ価)を <b>単回頸部筋肉内注射</b>
体重10kg当たりの投与量	0.25mL	1.0mL
投与1カ所当たりの最大投与量	1.4mL(≤体重56kg)	4.0mL(≤体重40kg)
有効菌種(豚)	アクチノバチルス プルロニューモニエ パスツレラ ムルトシダ マイコプラズマ ハイオニューモニエ	アクチノバチルス プルロニューモニエ パスツレラ ムルトシダ マイコプラズマ ハイオニューモニエ
ドラッグデリバリーシステム	<b>貪食細胞</b> に取り込まれ炎症部位へ移行	<b>貪食細胞</b> に取り込まれ炎症部位へ移行
抗菌作用以外の特長	<b>抗炎症作用<sup>1)</sup></b>	<b>抗炎症作用<sup>1)</sup></b>
使用禁止期間	28日間	28日間
貯法	密封容器 室温保存	密封容器 室温保存
開封後の使用期限	<b>室温:4週間<sup>2)</sup></b>	<b>室温:90日間</b>
包装	100mL × 1ガラスバイアル入 50mL × 1ガラスバイアル入 20mL × 1ガラスバイアル入	100mL × 1ガラスバイアル入

※本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。  
※本剤は、第一次選択薬が無効である症例に限り使用すること。

1) Fischer et al.: Antimicrob. Agents Chemother. 55(1):338, 2011  
2) 申請資料

# ゾエティス抗菌剤【豚】

製品紹介

## エクセーデ® S

1回の投与で  
7日間効果が持続

- ・1回投与で  
最適な作用持続時間を達成
- ・幅広い抗菌スペクトル



## エクセネル® RTU EZ

溶解の手間がなく、  
簡便性が向上

- ・有効菌種が4菌種に拡大
- ・使用禁止期間は3日間



## エクセネル®注

3日間の使用禁止  
期間でより確実に  
治せる安心

- ・注射部位に対する  
高い安全性



有効成分	セフトオフル	セフトオフル塩酸塩	セフトオフルナトリウム
含量	1mL中 100mg	1mL中 50.0mg	1mL中 50.0mg <sup>1)</sup>
適応症	細菌性肺炎	細菌性肺炎	豚胸膜肺炎
用法・用量(体重1kg当たり)	セフトオフルとして5.0mg(力価)を <b>頸部筋肉内に単回投与</b>	セフトオフルとして1~3mg(力価)を <b>3日間、筋肉内に注射</b>	セフトオフルとして1~3mg(力価)を <b>3日間、筋肉内に注射</b>
体重10kg当たりの投与量	0.5mL	0.2ml~0.6mL	0.2ml~0.6mL
投与1カ所当たりの最大投与量	2.0mL(≦体重40kg)	なし	なし
有効菌種(豚)	アクチノバチルス プルロニューモニエ パスツレラ ムルトシダ ヘモフィルス パラスイス ストレプトコッカス スイス	アクチノバチルス プルロニューモニエ パスツレラ ムルトシダ ヘモフィルス パラスイス ストレプトコッカス スイス	アクチノバチルス プルロニューモニエ
ドラッグデリバリーシステム	<b>血漿タンパクと結合し速やかに炎症部位へ移行</b>	<b>血漿タンパクと結合し速やかに炎症部位へ移行</b>	<b>血漿タンパクと結合し速やかに炎症部位へ移行</b>
抗菌作用以外の特長	<b>有効菌種の耐性化傾向なし</b>	<b>有効菌種の耐性化傾向なし</b>	<b>有効菌種の耐性化傾向なし</b>
使用禁止期間	70日間	3日間	3日間
貯法	密封容器 室温保存	密封容器 室温保存	室温保存
開封後の使用期限	<b>室温:12週間</b>	<b>室温:42日間<sup>3)</sup></b>	<b>室温:12時間<sup>2)</sup> / 冷蔵:7日間<sup>2)</sup></b>
包装	100mL × 1ガラスバイアル入	100mL × 1ガラスバイアル入	80mL × 1ガラスバイアル入 20mL × 5ガラスバイアル入

※本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。  
※本剤は、第一選択薬が無効である症例に限り使用すること。

1) 表示力価に従い、1mL当たり50mg(力価)となるよう注射用水で溶解  
2) 溶解後の使用期限  
3) 申請資料